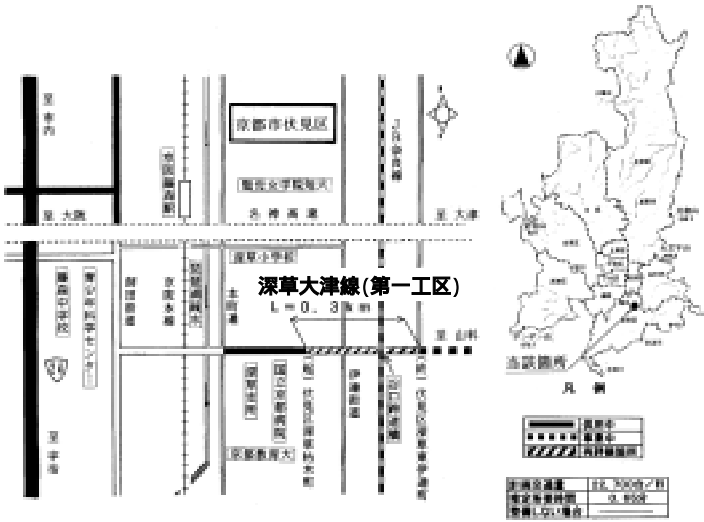


再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課
担当課長名：斉藤 親

事業名 ふかくさおおつせん（だいいちこうく） 深草大津線（第一工区）		事業区分 街路	事業主体 京都市	
起終点 自：京都市伏見区深草枯木町 至：京都市伏見区深草東伊達町		延長	0.3 km	
事業概要 本路線は、京都市南部の伏見区深草地域と東部の山科区勸修寺地域とを結ぶ主要な幹線道路（主要府道大津淀線）であるが、幅員が狭小（約6m）で歩道もなく、大型車の離合が困難で、交通渋滞が慢性化しているばかりか、歩行者の通行にも支障を来している。本事業の実施は、特に狭隘なJR奈良線との交差部の改良を含め、拡幅整備することにより、交通車両の円滑化及び歩行者の安全確保、並びに生活環境の向上を図るものである。				
H 元年度事業化	S 14年度都市計画決定 (S 47年度変更)	H 元年度用地着手	H 10年度工事着手	
全体事業費	約19億円	事業進捗率	98%	
計画交通量	22,700台/日		供用済延長	0.2 km
費用便益 分析結果	B / C (事業全体) 2.9	総費用 (残事業)/(事業全体) - / 25億円 (事業費：- / 24億円 維持管理費：- / 1億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) - / 73億円 (走行時間短縮便益：- / 64億円 走行費用減少便益：- / 1億円 交通事故減少便益：- / 8億円)	基準年 平成15年
	(残事業) -			
事業の効果等 国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する、日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる）他7項目に該当				
関係する地方公共団体等の意見 地元自治会より歩行者の通行に伴う安全性向上のための早期整備の要望を受けている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 JR奈良線の複線化工事と時期（平成9～13年度）をあわせて、当路線の事業区間であるJR交差部の拡幅を行い（工事期間平成10～12年度）、引き続き道路整備を進めているところである。				
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成14年度までに、未買収地に関連する区間を除いて整備を完了したところであり（整備率98%）、平成15年度は残る4筆の土地の買収及び道路整備を進めていく。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 地元との調整で工事着手年度が遅れたこと、西側区域において境界確定及び用地買収交渉が難航していたことから。				
施設の構造や工法の変更等 特になし				
対応方針 事業継続				
対応方針決定の理由 当路線の事業区間のうち大半は整備が完了しており（平成14年度末整備率98%）、引き続き歩行者の安全性を図るため、今後残りの用地についても早急に確保し、事業の早期完成に努める。				
事業概要図 				

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。